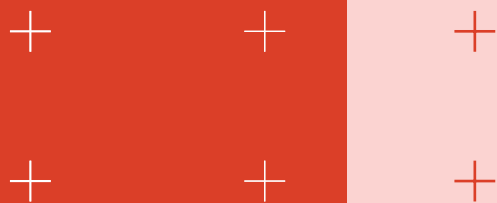


# ARISAKA

## Interim Business Report



第 28 期

中間事業報告書

平成17年4月1日から平成17年9月30日まで

株式会社 **アリスカ**  
証券コード 2328

# To Our Shareholders

株主の皆様へ



代表取締役 有坂 順三

## 魅力ある店舗の出店を加速し、 2006年度95億円の売上達成を目指します。

### >> 売上を伸ばすも、利益面では一進一退。

当中間期のわが国経済は、企業収益の改善に伴う設備投資の増加や雇用情勢の改善による個人消費の増加を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

このような中、当社は平成17年5月に宮崎県宮崎市にゲーム事業単独店として「アーバンスクエアイオン宮崎店」を開業、さらに同年7月には長崎県佐世保市に展開中のゲーム事業単独店「アーバンスクエア佐世保店」内に、新たにポウリング事業を併設した「ジョイプラザ佐世保店」を開業しました。この間、不効率店舗1店舗および複合施設内のカラオケ事業部門の閉鎖を行ったことにより、当中間期末の直営店舗数は31店舗、共同店舗\*は4店舗となりました。

これらの結果、当中間期の売上高は39億92百万円(前年同期比27.3%増)となり、営業利益は3億16百万円(前年同期比10.9%減)、経常利益は2億10百万円(前年同期比5.1%減)となり、中間純利益は88百万円(前年同期比7.7%増)となりました。

### >> 収益性重視で大型店舗の出店を加速。

当社の今後の経営戦略としては、引き続き財務体質の強化を目的として既存の中・小型店の不効率店舗の閉鎖を行う一方、大手流通企業が展開する大規模ショッピングセンターへの出店を含め、大型単独店を主軸とした収益性の高い新規店舗の開業を積極的に実施してまいります。すでにこの11月には、佐賀県初の出店となる複合アミューズメント施設「ジョイプラザ佐賀店」(佐賀県佐賀郡東与賀町)をイオン佐賀ショッピングセンターの敷地内にオープンしたほか、年末には愛知県2店舗目となる複合アミューズメント施設「ジョイプラザ熱田店(仮称)」(愛知県名古屋市)をオープンする予定です。

これらの計画を円滑に進めるには、新たな設備購入債務の発生を抑え、これまでと同様に市場からの資金調達や資産の流動化を検討し、投資効率の高い新規店舗の開業を実現するため、多くの出店情報を入力するとともに、調査・厳選し、早期着手することを心掛けています。

また、ビジネスチャンスを見逃さないため、大型複合施設として地域の優良プロジェクトに参加することも視野に入れており、大型複合施設の開業も進めていく方針であります。

### >> 大型化を図りつつ、地域一番店を目指す。

家庭用ゲーム機の普及やパソコンおよび携帯電話の普及により、ここ数年、アミューズメント施設の運営においても機器台数の少ない小型店舗が厳しい環境にさらされています。当社はアミューズメント施設でしか味わえない大型機械および最新の機種等、魅力あるゲーム機器を数多く設置できる大規模な店舗形態を重視しています。また、多様化するニーズに応えられる遊びの空間を提供するため、主力をゲーム事業におきながらも、ポウリング、スーパー銭湯、カラオケルーム、バッティングセンター等の各施設を併設した店舗展開を行い、あるいは他社が運営する複合施設内にゲーム店舗を設置し、店舗の大型化を図りつつ地域一番店を目標に出店を行ってまいります。

当然ながら、中長期的な会社の経営戦略に基づき、スクラップアンドビルドの実施による経営の効率化を積極的に行うとともに、投資効率のよい新規店舗の開業を進め、2007年3月期には95億円の売上達成を目指しています。

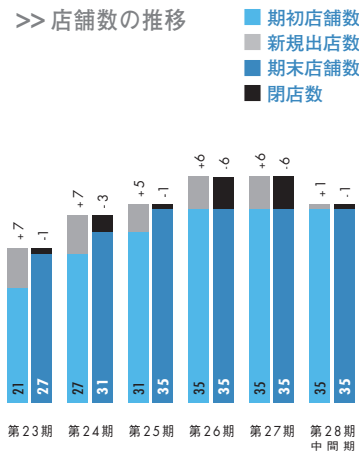
### >> 積極的な株主還元を継続。

当社は、株主様に対する利益還元を最重要課題としており、当中間期においては1株当たり12.5円の配当を実施いたしました。さらに、前々期より株主優待制度を設け、毎年3月31日および9月30日現在の株主および実質株主に対し、当社基準により年2回お米券を贈呈しています。今後も業績に応じて積極的な株主利益還元を行ってまいります。

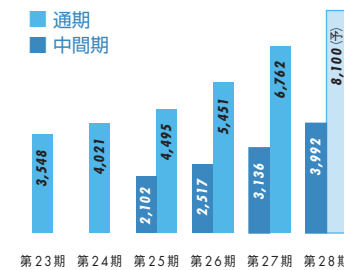
通期の業績は、前期に開設した店舗の業績の通期計上と当中間期に開設した店舗および今後開設予定の新店舗の業績見込みにより、売上高は81億円(前期比19.7%増)、営業利益は7億52百万円(前期比14.4%増)、経常利益は4億81百万円(前期比14.2%増)、当期純利益は2億39百万円(前期比160.8%増)を予想しております。引き続き、株主の皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

\*共同店舗：共同事業者との間における売上に応じた歩率契約による店舗

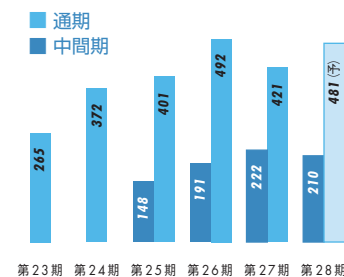
### >> 店舗数の推移



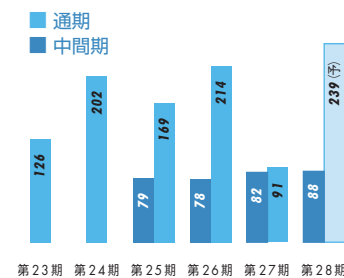
### >> 売上高 (単位:百万円)



### >> 経常利益 (単位:百万円)



### >> 中間(当期)純利益 (単位:百万円)



# Review of Operations

## 事業別営業概況

### ★ゲーム事業

当中間期は、不効率店舗1店舗を閉鎖しましたが、前中間期に出店した店舗の通年寄与と新設店舗および既存店舗の業績により、売上高は3,325,820千円(前年同期比23.6%増)となりました。平成17年9月末現在34店舗を運営しています。

### ★ボウリング事業

当中間期に開設した店舗の業績により、売上高は269,057千円(前年同期比35.3%増)となりました。平成17年9月末現在9店舗を運営しております。

### ★スーパー銭湯事業

周辺地域において温泉施設が開業したことによる競合により、売上高は113,425千円(前年同期比8.2%減)となりました。平成17年9月末現在4店舗を運営しています。

### ★カラオケ事業

当社は複合施設の集客増を目的に、あくまで利用者へのサービスの一環として設置運営していますが、当中間期に1店舗を閉鎖したことにより、売上高は33,862千円(前年同期比24.2%減)となりました。平成17年9月末現在5店舗を運営しています。

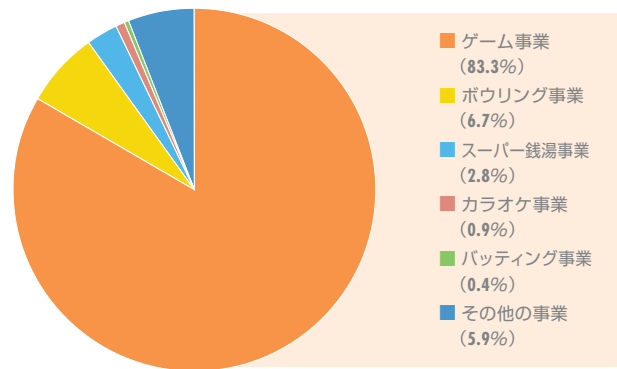
### ★バッティング事業

施設の複合化を目的に設置運営していますが、売上高は14,132千円(前年同期比25.2%減)となりました。平成17年9月末現在2店舗を運営しています。

### ★その他の事業

毎期変動が大きく、ゲーム事業に付随した業務である機器売上高が前年同期比187百万円の増加となったため、売上高は236,268千円(前年同期比293.1%増)となりました。

>> 事業別売上高構成比



>> 事業別売上高

事業名	第27期中間期	第28期中間期	対前年増減率(%)	第27期
	金額(千円)	金額(千円)		金額(千円)
ゲーム事業	2,690,985	3,325,820	23.6	5,633,756
ボウリング事業	198,845	269,057	35.3	482,423
スーパー銭湯事業	123,523	113,425	△8.2	250,874
カラオケ事業	44,651	33,862	△24.2	83,616
バッティング事業	18,890	14,132	△25.2	32,521
その他の事業	60,102	236,268	293.1	278,979
合計	3,136,998	3,992,566	27.3	6,762,171

>> 既存店売上昨年対比 (%)

事業名	4月							合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
ゲーム事業	89.6	90.4	95.3	100.5	101.1	113.0	98.8	
ボウリング事業	101.1	90.7	86.8	93.7	95.9	84.2	93.8	
スーパー銭湯事業	93.7	92.7	94.4	92.3	87.2	91.5	91.8	
カラオケ事業	81.8	77.4	75.3	78.9	79.2	74.9	82.1	
バッティング事業	111.0	92.1	98.3	111.1	104.0	86.9	100.3	
その他の事業	37.4	37.0	67.3	90.2	688.8	4179.2	590.3	
合計	88.8	88.9	93.9	99.3	108.0	138.9	105.1	

# Financial Statements

## 財務諸表

(単位：千円、端数切捨て)

■ 中間貸借対照表 (要旨)	第27期中間期	第28期中間期	第27期
	平成16年9月30日現在	平成17年9月30日現在	平成17年3月31日現在
(資産の部)			
流動資産	1,188,079	1,835,831	1,375,239
固定資産	9,729,052	10,894,354	10,532,272
有形固定資産	8,827,340	9,859,226	9,369,490
無形固定資産	97,287	69,875	83,581
投資その他の資産	804,423	965,253	1,079,200
繰延資産	9,775	7,423	11,720
資産合計	10,926,907	12,737,609	11,919,232
(負債の部)			
流動負債	2,958,251	2,527,978	3,312,627
固定負債	5,962,864	7,626,449	6,052,639
負債合計	8,921,115	10,154,427	9,365,267
(資本の部)			
資本金	635,150	922,650	922,650
資本剰余金	632,910	920,070	920,070
利益剰余金	735,777	720,216	705,899
その他有価証券評価差額金	7,251	30,516	14,509
自己株式	△ 5,297	△ 10,271	△ 9,164
資本合計	2,005,791	2,583,182	2,553,965
負債・資本合計	10,926,907	12,737,609	11,919,232

(単位：千円、端数切捨て)

■ 中間損益計算書 (要旨)	第27期中間期	第28期中間期	第27期
	平成16年4月1日から平成16年9月30日まで	平成17年4月1日から平成17年9月30日まで	平成16年4月1日から平成17年3月31日まで
売上高	3,136,998	3,992,566	6,762,171
売上原価	2,522,748	3,393,255	5,587,396
売上総利益	614,250	599,310	1,174,775
販売費及び一般管理費	258,793	282,482	519,422
営業利益	355,456	316,828	655,352
営業外収益	43,291	90,598	111,256
営業外費用	176,688	196,687	345,259
経常利益	222,059	210,740	421,349
特別利益	1,507	—	1,507
特別損失	71,947	31,765	251,144
税引前中間(当期)純利益	151,620	178,975	171,712
法人税、住民税及び事業税	65,225	99,100	75,750
法人税等調整額	3,978	△ 8,914	4,266
中間(当期)純利益	82,416	88,788	91,695
前期繰越利益	624,863	602,930	624,863
中間配当額	—	—	39,157
中間(当期)未処分利益	707,280	691,719	677,402

(単位：千円、端数切捨て)

■ 中間キャッシュ・フロー計算書(要旨)	第27期中間期	第28期中間期	第27期
	平成16年4月1日から平成16年9月30日まで	平成17年4月1日から平成17年9月30日まで	平成16年4月1日から平成17年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	392,092	605,713	998,004
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 893,172	△ 1,040,434	△ 2,211,357
財務活動によるキャッシュ・フロー	718,275	624,446	1,402,203
現金及び現金同等物の増加額	217,196	189,726	188,850
現金及び現金同等物の期首残高	414,074	602,924	414,074
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	631,270	792,651	602,924

### ■ 資産・負債・資本の状況

総資産は、新規出店および既存店舗のリニューアル等の設備投資の増加により、前期末に比べ8億18百万円増加し、127億37百万円(前期比6.9%増)となりました。総負債は、設備投資に伴う資金調達により、7億89百万円増加し、101億54百万円(前期比8.4%増)となりました。

株主資本は、中間純利益の計上により、29百万円増加し25億83百万円(前期比1.1%増)となりました。

### ■ 損益の状況

売上高は、前中間期以降に開設した店舗の売上高などにより、8億55百万円増加し、39億92百万円(前年同期比27.3%増、計画比8.8%増)となりました。

営業利益は、設備投資による減価償却費の増加により38百万円減少し、3億16百万円(前年同期比10.9%減、計画比6.8%減)となり、経常利益は11百万円減少し、2億10百万円(前年同期比5.1%減、計画比1.6%増)となりました。

中間純利益は不効率店等の設備の除却損により、6百万円の増加にとどまり88百万円(前年同期比7.7%増、計画比6.6%増)となりました。

### ■ キャッシュ・フローの状況

営業活動によって得られた資金は、税引前中間純利益の計上および減価償却費等の非資金費用の増加により、6億5百万円(前年同期比2億13百万円増)となりました。

投資活動によって使用された資金は、有形固定資産の取得等による支出の増加等により、10億40百万円(前年同期比1億47百万円増)となりました。

財務活動によって得られた資金は、6億24百万円(前年同期比93百万円減)となりました。

以上の結果、当中間期末における現金及び現金同等物の残高は前中間期より、1億61百万円増加し、7億92百万円となりました。

# Store Information

店舗の状況 (平成17年9月30日現在)

## >> 店舗一覧

合計 **35** 店舗

都道府県	市町村	店舗名	ゲーム	ボウリング	スーパー銭湯	カラオケ	パッティング	飲食店等
宮崎県	宮崎市	アーバンスクエア 一番街店	●					
	宮崎市	アーバンスクエア 宮崎駅前店	●					
	宮崎市	アーバンスクエア バイパス店	●					
	宮崎市	アーバンスクエア イオン宮崎SC店	●					
	宮崎市	パッティングセンターA-1	●	●				
	宮崎市	スーパー銭湯からっば湯 本郷店	●		●			
	宮崎市	スーパー銭湯からっば湯 北バイパス店	●	●	●			
	宮崎市	ジョイプラザ 宮崎店	●	●	●	●	●	
	都城市	都城アーバンボウル	●	●	●	●	●	
	都城市	アーバンスクエア 都城北店	●					
	小林市	小林アーバンボウル	●	●	●	●	●	
	延岡市	スーパー銭湯からっば湯 延岡店	●	●	●			
福岡県	福岡市	アーバンスクエア 西部スポーツガーデン	●	●				
	飯塚市	アーバンスクエア 飯塚店	●					
	北九州市	アーバンスクエア 小倉店	●					
	久留米市	アーバンスクエア 久留米店	●					
	大川市	アーバンスクエア 大川店	●					
	糟屋郡	ジョイプラザ 新宮店	●	●	●	●	●	

(●ゲーム ●ボウリング ●スーパー銭湯 ●カラオケ ●パッティング ●飲食店等)

鹿児島県	鹿児島市	アーバンスクエア 天文館店	●					
	鹿児島市	アーバンスクエア 与次郎店※	●					
熊本県	八代市	八代アーバンボウル	●	●	●	●	●	
	熊本市	アーバンスクエア 熊本店	●					
	長崎県	佐世保市	ジョイプラザ 佐世保店	●	●			
兵庫県	神戸市	アーバンスクエア ダイエーハーバーランド店	●					
	豊岡市	ジョイプラザ 豊岡店	●	●				
	朝来郡	アーバンスクエア 和田山店	●					
加古川市	ジョイプラザ 加古川店	●	●					
滋賀県	草津市	アーバンスクエア 草津駅前店	●					
三重県	津市	アーバンスクエア 津南店※	●					
愛知県	名古屋市	アーバンスクエア 大須店※	●					
神奈川県	横浜市	アーバンスクエア 横浜中華街店※	●					
茨城県	水戸市	アーバンスクエア 50号バイパス店	●					
	水戸市	アーバンスクエア 上水戸店	●					
	水戸市	アーバンスクエア 駅南店	●					
	下妻市	ジョイプラザ 下妻店	●	●				

※印は共同店舗です。

# Corporate Data

会社データ (平成17年9月30日現在)

## >> 会社概要

社名 株式会社アリスカ  
 設立 昭和51年10月9日  
 本社所在地 宮崎県宮崎市本郷北方2485-20  
 TEL. 0985-52-1314 (代表)  
 従業員数 社員 117名  
 パート・アルバイト 545名  
 事業内容 ・アミューズメント施設の経営・企画・開発および設計・施工  
 ・ボウリング場施設の経営・運営管理  
 ・スーパー銭湯の経営・運営管理  
 ・カラオケシステム施設の経営・企画・運営管理  
 ・パッティングセンター施設の経営・運営管理  
 ・その他アミューズメント施設関連事業  
 事務所 東京事務所／東京都港区芝5-31-7  
 三田ステーションビルアミタ1003号  
 ※12月に下記の住所に移転予定です。  
 東京都港区浜松町1-27-14 サン・キツカワビル2F

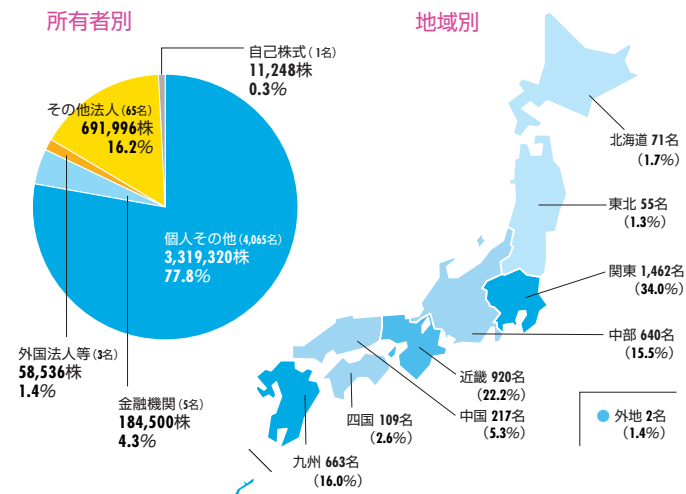
## >> 株式の状況

会社が発行する株式の総数	17,000,000株
発行済株式の総数	4,265,600株
株主数	4,139名

## >> 大株主

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
有坂順三	1,094,540	25.7
有坂力	133,300	3.1
オリックス株式会社	129,600	3.0
株式会社宮崎銀行	126,000	3.0
株式会社セガ	115,200	2.7
自社取引先持株会	71,976	1.7
興和商事株式会社	64,400	1.5
高口優子	62,028	1.5
有坂悦子	62,000	1.5
有坂久美子	62,000	1.5
有坂史	62,000	1.5

## >> 株主分布状況



## >> 役員

代表取締役 有坂 順三  
 専務取締役 信安 九州男  
 常務取締役 佐野 勤  
 取締役 山内 政人  
 常勤監査役 田中 博  
 監査役 枘 一生  
 監査役 測 公紀

## New Open!

### 佐賀県初となる 複合アミューズメント施設を出店

本年11月3日、イオン佐賀ショッピングセンター(佐賀県佐賀郡東与賀町)敷地内に、当社の複合アミューズメント施設「ジョイプラザ佐賀店」がオープンしました。新店の基本コンセプトは、「屋内遊園地」。「健全で明るく楽しい憩いの場と、納得のいくサービスの提供」を体験できる施設として、最新機種を導入したアミューズメントコーナーと安価な料金体系によるボウリング場を擁しています。現地は、佐賀空港とJR佐賀駅を結ぶ国道沿いに面しており、イオングループが開発を進めているスーパーセンター(日常生活のすべてが解決する地域密着型店舗)の九州地区1号店との相乗効果で、広域からの集客が期待されています。



ジョイプラザ佐賀店

株主優待

# 年2回、 おこめ券を 贈呈いたします。

毎年3月31日および9月30日現在の株主および実質株主の皆様に対し、お米券を年2回、以下の基準により贈呈いたします。

## 割当基準日<3月31日>

100株(1単元)以上1,000株未満……3kg相当  
1,000株以上10,000株未満……5kg相当  
10,000株以上……10kg相当

## 割当基準日<9月30日>

1,000株以上……5kg相当



おもに、全国の米穀店、スーパー、コンビニ等でご利用いただけます。

(注)平成17年9月30日現在の内容で記載しております。

株主メモ

決算期日	3月31日
株主総会	6月下旬に開催
基準日	定時株主総会関係 3月31日 利益配当金支払関係 3月31日 中間配当支払関係 9月30日 その他はあらかじめ公告いたします。
名義書換代理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
(郵便物送付先) 電話お問合せ先	〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)
同取次所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
公告の方法	決算を含む公告につきましては、当社の 下記のホームページに掲載いたします。 但し、電子公告によることができない事 故その他のやむを得ない事由が生じたと きは、日本経済新聞に掲載して行います。 <a href="http://www.arisaka.net/home.html">http://www.arisaka.net/home.html</a>
1単元の株式数	100株

## ■ お知らせ

1. 名義書換請求・単元未満株式買取請求・住所変更等に必要の各用紙のご請求は、名義書換代理人の下記の専用ホームページにて出力できます。

<http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/> お手続内容

2. 平成15年4月1日施行の改正商法により「株券失効制度」がスタートし、株券を喪失された場合の手続が従来の公示催告・除権判決により再発行を受ける手続より簡便となりました。詳細は名義書換代理人 0120-288-324 (フリーダイヤル) にご照会ください。